

【資料①】

【授業参観と学級懇談の生かし方 ～「保護者との上手な付き合い方」の第一歩】

《1. 授業参観で見せたいもの。見たいもの。》

『(1) 教師』

『(2) 保護者』

- | | |
|---------------------|------------------|
| (1) - ①子供の学習態度や学習意欲 | (2) - ①子供の授業態度 |
| ②学習環境や掲示物 | ②子供と教師の信頼関係 |
| ③学習時の学級の雰囲気 | ③学級全体の雰囲気 |
| ④学習時の友達とのかかわり | ④子供の授業への集中の度合 |
| ⑤子供の持ち物、身辺 | ⑤集団の中で自分の意見がいえるか |

《2. 学級懇談で教師は何を言いたい。保護者は何を聞きたいか。》

『(1) 教師』

『(2) 保護者』

- | | |
|---------------------|------------------------|
| (1) - ①学級の実態（長所、短所） | (2) - ①学級の実態等を具体的に知りたい |
| ②基本的な生活習慣の欠如<例> | ②学級内の問題点 |
| ③家庭で協力してほしいこと | ③子供同士の間関係 |
| ④学習の状況、進捗、努力している点 | ④学習の内容、指導法、到達度 |
| ⑤現代の学力観 | ⑤学習の進捗 |

《3. 学級懇談で保護者の言いたいこと。教師が聞きたいこと。》

『(1) 教師』

『(2) 保護者』

- | | |
|-------------------|----------------|
| (1) - ①家庭における子供の姿 | (2) - ①宿題の出し方 |
| ②家庭の教育方針、その実状 | ②お小遣いの額や与え方 |
| ③地域での子供の友人関係 | ③教師に対する子供の気持ち |
| ④学校教育、担任への要望 | ④家庭での子供の様子 |
| ⑤学校生活に対する子供の反応 | ⑤校内でのトラブル処理の経過 |

★保護者が、「家では〇〇ですが～」と子供の様子を話してくれると教師との
かかわりは深まる。

【家庭訪問の方法】

1. 計画的な家庭訪問

- (1) 家庭の都合を聞いて、家庭訪問の計画を整理する。
- (2) 家庭訪問の目的をあらかじめ周知する。
- (3) 訪問時間は短時間（15～20分程度とする。）
- (4) 事前に家庭環境等について調べる。

2. 問題があつての家庭訪問→「4. 家庭訪問の実際的な心得」と関連

- (1) 家庭訪問をする前に連絡をとる。
- (2) できる限り保護者の意向に添った時間にする。

3. 家庭訪問をする際の留意点

- (1) 家庭訪問の約束時間等は必ず守ること。
都合で時間に遅れる時は、途中から電話連絡をする。
- (2) 家庭訪問で知り得た秘密は守ること。
話の中で、他人に知られたくない秘密を知る場合がある。「ここだけの話にして下さい。」と言われたことだけではなく、気づいことは秘密を守ることが大切になる。
- (3) プライバシーにかかわることは、聞かないこと。
直接、必要としないことは、聞き出さないように心がけるとともに、相手から話しだされたことでも、確かな信頼関係が構築されるまでは、突っ込んだ質問を控える。
- (4) 原則としてメモはとらないこと。
家族の前でメモをとったり、家庭生活について軽率な批判をしたりすることは慎むようにする。
- (5) 目の前で保護者や子供の批判はしないこと。
保護者の前で子供を批判したり、子供の前で保護者を批判したりしないようにする。《玄関で保護者と話している時、子供は隠れて聞いている。》

4. 家庭訪問の実際的な心得《問題が発生して、緊急に家庭訪問をする場合》

- (1) 事前に学校から電話しておくこと。
- (2) 保護者の愚痴は、否定しないで十分に聞くこと。
子供の問題行動は、保護者の期待に反したことになります。保護者の思いは、教師には理解できないほど深いものかもしれません。保護者の思いに共感することから話し合いは始まるので、考えに誤りがあっても、その場で批判することは極力避けたいものである。

親の子供に対する態度	意味	タイプ	子供に対する態度	子供に起こる問題
拒否的	<ul style="list-style-type: none"> 子供への愛情の欠如 援助の拒否 子供の働きかけに対する無視 	消極的拒否型	無視、放任、無関心、不信用、悪感情、不一致感	注目を引こうとする 乱暴攻撃、心身の発達遅滞
		積極的拒否型	体罰、虐待、威嚇、屈辱、過酷な要求、保護養育の責任の放棄	非行、神経症的傾向 多くの異常行動
支配的	<ul style="list-style-type: none"> 子供は親の所有物とみなし、絶対の権力で統制しようとする 	厳格型	厳格、がん固、強制、命令、禁止、批判	意欲喪失、冷淡、希望消失、無感動、自主性の欠如、劣等感、不適応感を抱きやすい
		期待型	親の要求や野心を子供に強要する	
保護的	<ul style="list-style-type: none"> 子供に対して感情的な行動をとりやすい親で、心配、不安、恐怖感、過度の保護をこしよによって解消しようとする 	干渉型	期待型に共通した親の感情があり、子供をより良くするためにこまごまとした世話をやり、指示する	心身の発達遅滞 依頼心つよく、忍耐力欠如、責任転嫁、同年の子供との接触を欠き、社会的成熟遅れる
		不安型	日常生活、学業、健康、交友関係、進路に対して必要以上の心配と不安を抱き、責任をとる	引っこみ思案、孤独 外界への恐怖、神経症的傾向
服従的	<ul style="list-style-type: none"> 子供の要求や主張を無条件に受け入れる 子供に奉仕することでの親の満たされたい感情を補っている 背後に夫婦間のトラブル、祖父と母とのかっとう、配偶者の欠損などあり 	盲愛型	一切の権力を子供に持たせる必要以上の高価なものを与える「いや」といえば何でも許してやる	自己中心的、協調性欠如、幼児的 忍耐力欠如、無責任、他人の助力を期待している 何か強い刺激を求め、規則正しい生活に耐えられない
		溺愛型	さ細なことに賞を与え必要以上に買ってあげる悪いことに対しても味方になってやる 少しも子供を手離したがない	性的発達も早く、それをコントロールする力の不足
矛盾的	<ul style="list-style-type: none"> 一人の親が、時と場合でしつけや態度に矛盾をきたす 		子供の同じ行動に対してある時は叱責・禁止し、ある時は見逃し奨励したり一貫性がない	日常行動のうちに規則性を見いだしえない、たえず緊張の持続で情緒不安に陥る ・神経症的な問題を起こし日常生活に対応できない ・反社会的傾向に走りやすい
不一致的	<ul style="list-style-type: none"> 両親の態度が一致しないとき 		両親の態度のくい違い 例えば父親は拒否的、母親は保護的、母親は支配的、父親は服従的	反抗心、反社会的傾向へ… 子供によってはこの攻撃性を隠そうとし表面おとなしい、引っ込み思案の態度を露す。しかし何かの契機で残忍冷酷な態度、極度の非行に走りやすい